

2021年度／2020年度事業案内

川崎いのちの電話

“コロナ禍”でも～悩める心に寄り添うために～

新型コロナウイルスの感染拡大が一向に収まらず、医療崩壊防止に努める関係従事者のご苦勞に改めて感謝の意を表します。このコロナ禍で経済は大打撃を受け、特に飲食業、宿泊業、旅行業、サービス業、小売業などとその取引先業者など、身の回りの消費経済の落ち込みは著しいものがあります。取り分け女性に多い非正規職員・社員の契約解除や失職。減収が際立つ業種での雇用悪化による失業者の増大が社会問題化すること必定です。

今日の我が国社会は自由と平和を謳歌する先進経済大国の一員かもしれませんが、内実は核家族化から少子超高齢化へ急速に進行しています。居住建物の高層化（タワーマンション）による近隣地域社会のコミュニケーション不足は否めません。こうしたことは、住民間の孤立、孤独化を招き、老・壮・青・少の世代間だけでなく、貧・富をはじめ数々の分断と格差現象を生み出し、弾き出された弱者が精神的に孤立・孤独の世界に追い詰められる面が見られます。

官民の努力で減少傾向にあった自殺（自死）者数が増え始めています。このウイズコロナ社会で特に女性と子供が目立って急増しているのは、上記事情との関連を考えざるを得ません。今年度も「いのちの電話」の相談員は、行政の手の届かないところで独りもがき苦しむ声を聴き、その悩む心に寄り添いともに乗り越えるべく、ひたすら研鑽を重ね、四六時中休むことなく電話を受け続けてまいります。

川崎いのちの電話 理事長

金子圭賢

2021年度事業(活動)計画

1. 1本でも多くの電話相談を受けるため、つながりやすい電話を目指す。
2. コロナ禍で、孤独、不安、生活苦などを思い悩む人が増えており、多様で深刻な相談に対応できるよう、なおいっそうの研修の充実に取り組む。
3. 事業継続のため、広く市民、企業、団体からの支援強化に取り組む。

- 2020年度に募集を中止した相談員の増員を目指す
- つながりやすい電話を目指してナビダイヤルへの参加を検討する
- 相談員委員会活動の活性化
- コロナ禍にあっても相談員の養成に丁寧に取り組む
- 電話相談のさらなる質の向上を目指す
- 研修を担う人材の確保と資質の向上を目指す
- 地元企業・団体・学校などに役立つ研修に応じて、貢献する。
- 2021年度のチャリティーイベント——10月に青島広志コンサート、22年3月に柳家三三独演会
- 年3回の広報誌を発行。引き続き市民や学校、企業・団体で役立つテーマを取り上げる
- 手作り品の製作、販売
- インターネット相談の返信数を増加
- 自死遺族はっとライン＝川崎市の委託事業 毎月第2・第4木曜日12時から16時まで
- 川崎市と共催のこころの健康セミナーを開催する
- 横浜、東京など近隣センターとの交流を深める

社会福祉法人 川崎いのちの電話

事務局：〒211-8690 川崎市中原郵便局私書箱17号 ☎ 044-722-7121 発行人：金子圭賢 URL：<http://kawasaki-inochinodenwa.jp/>

2020年度事業(活動)報告

2020年に入り、新型コロナウイルスの感染が日本でも拡大した。首都圏での感染の広がりによる「緊急事態宣言」の発令などで、川崎いのちの電話の活動に影響が出た。

1. この1年の歩み

①電話相談・研修業務

- 第1回目の緊急事態宣言が発令されたのに伴い、4月8日から5月6日まで電話相談業務を休止。
- 研修中だった34期生の研修を4月に中断、6月に再開して11月に15人を相談員として認定。35期の養成研修は4月の面接からすべての研修を中止、2021年には新相談員が誕生しない。
2021年に入って感染が再拡大し、36期研修の第1段階となる公開講座(1月～2月に3回)を中止。7月から研修再開予定。
- 現相談員の継続研修は、緊急事態宣言期間中は休止。年1回義務となっているスーパービジョンは全員が行った。

②相談電話件数・相談員数

- 2020年(1～12月)の相談電話件数は1万1002件、19年比3864件減少(26%)。1カ月間の相談業務中止などが影響した。
- 実際に担当した延べ相談員は、相談休止などで減少した。

2. 寄付金一個人・団体の寄付大幅増

賛助会員寄付は391万1000円(予算比56%増、19年度比34%増)、一般寄付は295万1956円(予算比40%増、19年度比27%増)と、どちらも近年にない増額となった。チャリティー事業の中止分を補った。寄付の総額は737万3956円で19年度比2%増、年間予算720万円を2.4%上回った。

寄付金の増加は、コロナ禍の中でいのちの電話の活動が新聞・雑誌・テレビやネット報道で知られ、初めて寄付をする個人・団体が多かった。ライオンズクラブ国際協会330-B地区の100万円をはじめ大口の寄付も目立った。

3. 各部門の活動

- 継続グループの代表による委員会を毎月1回開催してきたが、半分にとどまった。7月から相談員委員会を再開し、コロナ状況下での各相談員の不安、思いやいのちの電話の役割などを話し合った。
- 研修が予定通り実施できない中、可能な限りの策を講じながら相談員の養成に努め、現相談員の質的向上に取り組んだ。コロナ禍で内向する心身を解放するエクササイズとして、リラックス・ヨガの体験や精神障がい・神経発達障がい生きづらさを抱える若者に焦点を当てた全体研修などを実施。
研修担当者もグループスーパービジョンや意見交換などを行った。

4. 川崎市からの受託事業、共催事業

- 市から自死遺族ほっとラインを受託。毎月2回(第2・第4木曜12時～16時、4月は休止)、計19件の受信があった。件数は少なくとも、「ここに話ができる電話がある」ことを大切に取組んだ。
- こころの健康セミナーは、オンラインで21年3月20日開催、参加者61名。第1部の講演は「こどもと家族のこころの健康」(講師:小野和哉聖マリアンナ医科大学神経精神科特任教授)。第2部のシンポジウムのテーマは「こころの健康と相談」。特定非営利活動法人あなたのいばしょ、川崎いのちの電話、川崎市健康福祉局がシンポジストになり、聴衆からの意見にも応えた。

5. 講師派遣

川崎市福祉人材バンク「ゲートキーパー講座」(12月14日 3名派遣)、川崎市民アカデミー「シニアライフ問題解決講座」(1月27日 3名派遣)。

6. チャリティー事業

10月のチャリティーコンサートは1年延期とし、3月の柳家三三独演会は新型コロナ感染防止対策を十分に行って実施した。手作り品の販売に苦勞したが、手作りマスクや小物類を販売、マスクは好評だった。

7. 広報誌の発行

創刊100号記念号を含めて広報誌「川崎いのちの電話」を例年どおり年3回発行(7月、11月、3月延べ13,500部)した。
○99号「ひきこもりの理解と対応～生きづらさの背景にあるもの～」○100号「100号への歩み 書いて つないで 広がって」○101号「誰もが地域で豊かに暮らせる社会をめざして」

8. インターネット相談

合計113件の相談に応じた。20代～40代からの相談が多いのが特徴。

1. 2020年の相談電話件数は1万1002件、女性の自殺志向が4年ぶりに10%を超える

2020年(1～12月)の相談電話件数は1万1002件で、前年比3864件少なかった。新型コロナウイルスの感染拡大・感染予防により1カ月間(4月8日～5月6日)の相談活動休止や、担当相談員の減少などが理由。1日(337日間)当たりの相談件数は32件。

男女別では、男性49.8%、女性50.2%。年代別では、50代が23.7%、40代が23.2%でこの2つの年代で全体のほぼ半数を占める。続いて30代16.7%、60代14.2%。

内容別では、「人生(生き方、孤独、コロナ禍など)」が2567件(23.3%)と全体の4分の1近くを占め、次いで「精神(こころの病気など)」が1946件(17.7%)、「家族」1376件(12.5%)、「対人」1229件(11.2%)となっている。

自殺志向のある相談の割合は全体の8.4%。男性が6.7%(前年比0.9%増)、女性が10.1%(同1.1%増)と、4年ぶりに女性の自殺志向が10%を超えた。

年代別の自殺志向は、70代男性が21.6%と最も高く、次いで30代女性が17.0%、40代女性が11.4%、20代女性が11.3%。

内容別の自殺志向は、「精神(女性)」が20.0%とトップで、次いで「経済(生活苦、負債、事業不振など)(男性)」が19.5%、「人生(女性)」が14.4%、「経済(女性)」が12.0%、「人生(男性)」が10.3%、「精神(男性)」が10.2%と続く。

注:2020年より統計方法を日本いのちの電話連盟に合わせた。過去年も集計しなおしたため、昨年までの公表数と差がある。

総受信件数と自殺志向率

区分	受信件数	自殺志向率
男性	5,478	6.7%
女性	5,524	10.1%
計	11,002	8.4%

相談件数の多い内容

区分	件数
1 人生	2,567
2 精神	1,946
3 家族	1,376

自殺志向の高い年代性別

区分	自殺志向率
1 70代男性	21.6%
2 30代女性	17.0%
3 40代女性	11.4%

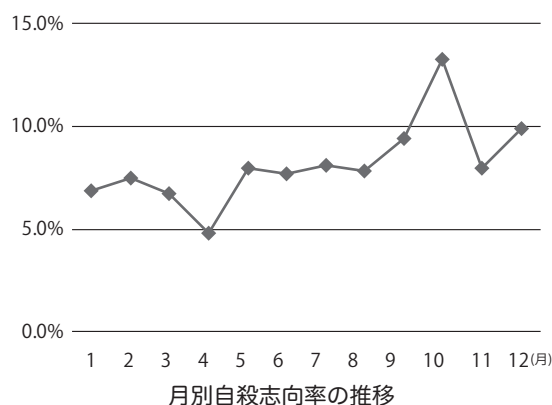
■全国のいのちの電話の受信件数との比較

2020年の50センター合計の相談件数は、52万754件で前年比8万9618件(14.7%)の減少。近年は相談員の減少により4%前後の減少が続いていたが、全国的にコロナウイルス感染拡大の影響で相談活動を休止したセンターが多かったため。川崎センターの占める割合は全体の2.1%。

(単位: 件)						
区分		16年	17年	18年	19年	20年
全 国	男性	341,761	328,972	309,565	305,580	261,093
	女性	335,239	323,935	317,910	304,792	259,661
	計	677,000	652,907	627,475	610,372	520,754
川 崎	男性	7,026	6,684	6,640	6,810	5,478
	女性	7,129	7,346	8,031	8,056	5,524
	計	14,155	14,030	14,671	14,866	11,002

2. 月別受信件数と自殺志向の推移

新型コロナウイルス感染拡大が長引く中で、年々減少が続いていた全国の自殺者数は7月から増え始め、10月が最多の2016人となった。こうしたことを背景に、当センターへの相談電話の自殺志向が最も高くなったのは10月の13.3%だった。



(単位: 件)

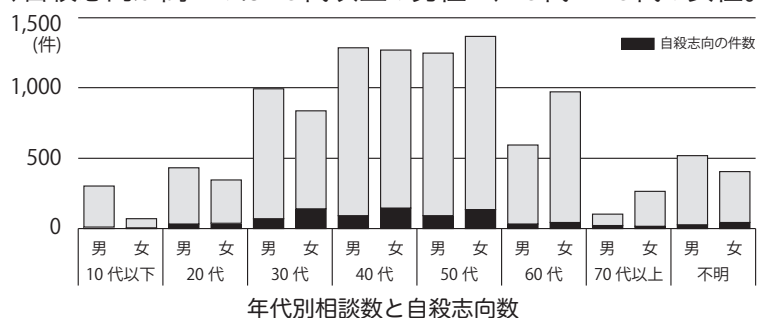
区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
受信件数	1,325	1,274	1,050	166	523	660	732	929	1,024	1,090	1,114	1,115	11,002
自殺志向率	6.9%	7.5%	6.7%	4.8%	8.0%	7.7%	8.1%	7.8%	9.4%	13.3%	8.0%	9.9%	8.4%

3. 年代別相談数と自殺志向

相談件数では40代と50代でほぼ半数を占めるが、自殺志向が高いのは70代以上の男性と、20代～40代の女性。

(単位: 件)

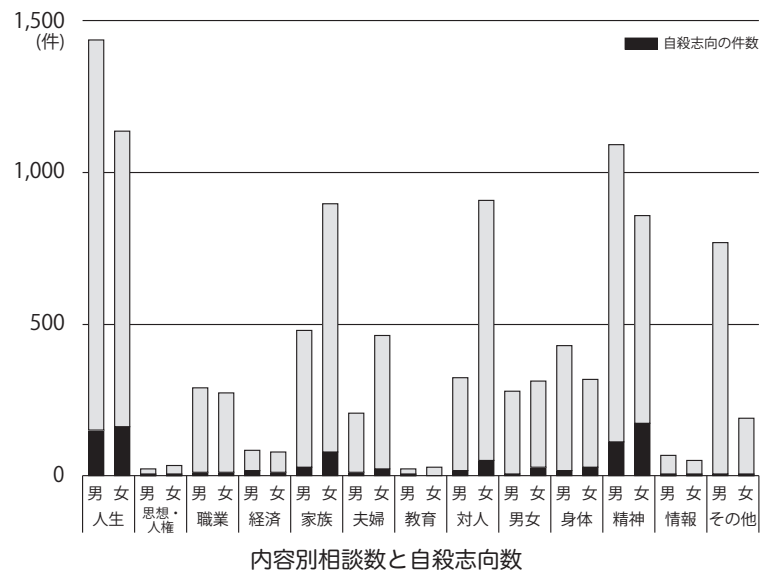
区分	全 体				自殺志向率		
	男性	女性	計	%	男性	女性	計
10代以下	301	72	373	3.4%	3.7%	8.3%	4.6%
20代	434	345	779	7.1%	6.9%	11.3%	8.9%
30代	995	837	1,832	16.7%	6.8%	17.0%	11.5%
40代	1,287	1,267	2,554	23.2%	7.2%	11.4%	9.3%
50代	1,247	1,363	2,610	23.7%	7.1%	9.7%	8.5%
60代	592	973	1,565	14.2%	5.2%	4.1%	4.5%
70代以上	102	262	364	3.3%	21.6%	5.3%	9.9%
不明	520	405	925	8.4%	4.8%	10.4%	7.2%
計	5,478	5,524	11,002	100.0%	6.7%	10.1%	8.4%



4. 内容別相談数と自殺志向

相談件数の多いのは「人生」「精神」「家族」だが、自殺志向の割合では「経済」が最も高い。

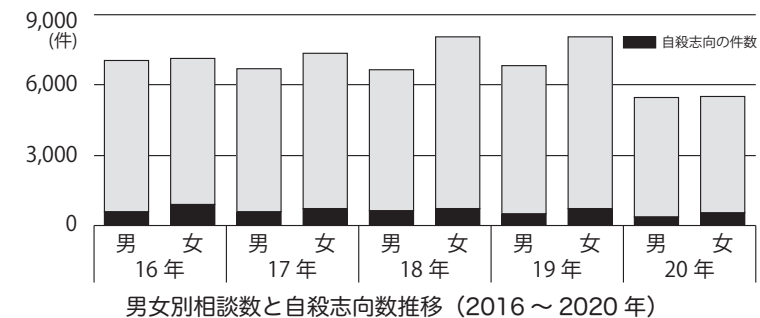
区分	全体				自殺志向率		
	男性	女性	計	%	男性	女性	計
人生	1,433	1,134	2,567	23.3%	10.3%	14.4%	12.1%
思想・人権	23	31	54	0.5%	4.3%	6.5%	5.6%
職業	289	273	562	5.1%	4.2%	3.3%	3.7%
経済	82	75	157	1.4%	19.5%	12.0%	15.9%
家族	480	896	1,376	12.5%	5.6%	8.7%	7.6%
夫婦	207	462	669	6.1%	4.8%	5.0%	4.9%
教育	20	25	45	0.4%	5.0%	0.0%	2.2%
対人	322	907	1,229	11.2%	4.7%	5.3%	5.1%
男女	275	311	586	5.3%	1.8%	8.4%	5.3%
身体	426	316	742	6.7%	3.8%	8.9%	5.9%
精神	1,090	856	1,946	17.7%	10.1%	20.0%	14.4%
情報	65	49	114	1.0%	3.1%	4.1%	3.5%
その他	766	189	955	8.7%	0.8%	0.5%	0.7%
計	5,478	5,524	11,002	100.0%	6.7%	10.1%	8.4%



5. 男女別相談数と自殺志向の推移（2016年～2020年）

自殺志向はもともと女性が高く、20年は女性が10.1%で男性より3.4ポイント高くなった。

区分	16年	17年	18年	19年	20年
男性	7,026	6,684	6,640	6,810	5,478
女性	7,129	7,346	8,031	8,056	5,524
計	14,155	14,030	14,671	14,866	11,002
自殺志向率 男性	8.5%	8.6%	9.3%	7.6%	6.7%
自殺志向率 女性	12.8%	9.9%	9.0%	9.0%	10.1%
自殺志向率 計	10.7%	9.3%	9.1%	8.3%	8.4%

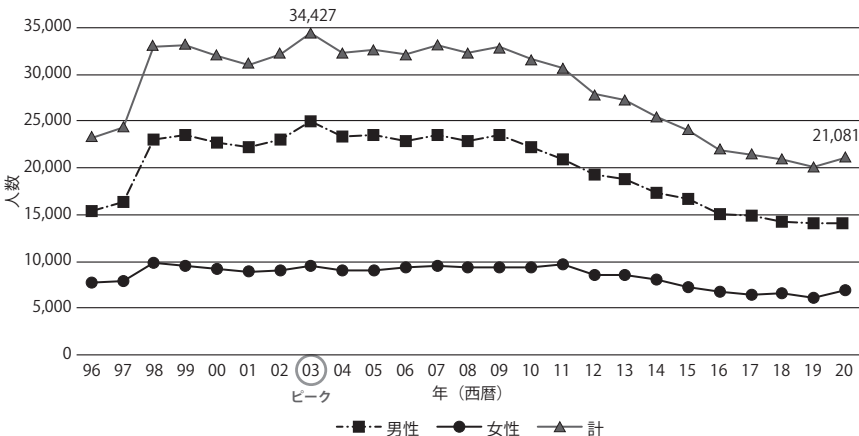


6. 全国の自殺者、11年ぶりに増加。男性は減少、女性は増加

2020年の全国の自殺者は2万1081人で、11年ぶりに前年比912人増（4.5%）となった。男女別では、男性が1万4055人（同23人減）、女性が7026人（同935人増）。

年代別では、40代が3568人（16.9%）で最も多く、次いで50代3425人（16.2%）、70代3026人（14.4%）、60代2795人（13.3%）の順。増加幅では19歳以下が前年比17.9%増の777人、20代が同19.1%増の2521人と、若い世代が目立つ。

原因別は前年と同じ順位で、「健康問題」が最も多く、次いで「経済・生活問題」「家庭問題」「勤務問題」となっている。



■川崎市は195人

川崎市は195人で前年と比べて4人増加した。男女別では男性131人、女性63人で、男性は女性の2.1倍。自殺死亡率（10万人あたりの自殺者数）は12.73人。

（厚生労働省、川崎市公表データより）

川崎市自殺者数推移

区分	16年	17年	18年	19年	20年
男性	119	142	115	127	131
女性	49	64	69	64	63
計	168	206	184	191	195
自殺死亡率	11.37	13.81	12.22	12.58	12.73

注：2020年の自殺者総数は男性と女性の和数とならない（川崎市データより）

2020年度決算

事業活動計算書

単位：円

収益の部	
科 目	金 額
相談事業	8,327,831
育成事業	11,000
受託事業	1,087,231
その他事業	7,229,600
川崎市補助金	5,189,600
共同募金配分金	40,000
持続化給付金	2,000,000
経常経費寄付	7,373,956
経常経費寄付金	3,151,956
一般寄付	2,951,956
チャリティー寄付	0
製作部寄付	200,000
会員会費収入	4,222,000
賛助会費寄付	3,911,000
維持会員寄付	311,000
その他収入	107,250
収益合計	15,809,037

費用の部	
科 目	金 額
人件費	5,254,213
事業費	2,659,251
委員会費	1,132,073
広報費	531,645
研修研究費	0
教育指導費	540,070
その他支出	455,463
事務費支出	4,454,228
事務消耗品	290,934
水道光熱費	496,869
通信運搬費	868,180
修繕費	1,342,400
その他支出	1,455,845
減価償却費	1,440,727
国庫補助金等特別積立金取崩額	△195,998
費用合計	13,612,421

サービス活動増減差額	2,196,616
------------	-----------

貸借対照表

単位：円

資産の部	
科 目	金 額
流動資産	13,868,987
現金預金	13,468,987
小口現金	3,270
現金	15,000
普通預金	2,287,222
貯蓄預金	4,239,195
郵便振替口座	6,924,300
仮払金	400,000
固定資産	120,910,688
基本財産	100,000,000
土地	22,000,000
基本財産特定預金	20,000,000
建物	58,000,000
減価償却累計額（建物）	△9,570,000
減価償却積立預金	9,570,000
その他固定資産	20,910,688
資産の部合計	134,779,675

負債の部	
科 目	金 額
流動負債	34,938
負債の部合計	34,938

純資産の部	
科 目	金 額
基本金	100,000,000
国庫補助金等特別積立金	28,300,001
その他積立金	0
次期繰越活動増減差額	6,444,736
（うち当期活動増減差額）	2,212,773
純資産の部合計	134,744,737

負債及び純資産の部合計	134,779,675
-------------	-------------

2021年度予算案

事業活動による収支

単位：円

収入の部	
科 目	金 額
相談事業収入	8,879,600
育成事業収入	1,710,000
受託事業収入	1,320,000
その他事業収入	5,849,600
川崎市補助金	5,189,600
共同募金配分金	160,000
神奈川県補助金	500,000
経常経費寄付収入	6,800,000
経常経費寄付金	3,900,000
一般寄付	2,100,000
チャリティー寄付	1,200,000
製作部寄付	600,000
会員会費収入	2,900,000
賛助会員寄付	2,500,000
維持会員寄付	400,000
その他収入	66,000
事業活動収入合計	15,746,200

支出の部	
科 目	金 額
人件費支出	6,050,000
事業費支出	5,891,000
委員会費支出	1,150,000
広報費支出	700,000
研修研究費支出	1,245,000
教育指導費支出	1,500,000
その他支出	1,296,000
事務費支出	3,680,000
事業活動支出計	15,621,000

事業活動資金収支差額	125,200
------------	---------

<役員名>

評議員

市川 功一 千田 智子 北條 秀衛
松原 成文 伊藤 初美 堂本 典希
西村恭仁子 山本 直正 山田美和子
吉田 伸一 <任期は2025年6月まで>

理事長

金子 圭賢

理 事

安達 成功 井田 光政 鈴木 清
張 賢徳 森 登美夫 小杉 千弦(事務局長)

監 事

関口 賢次 増山 雅久

顧 問

阿部 孝夫 近藤八千代

参 与

有田 茂 <任期は2023年6月まで>

「2021年度／2020年度事業案内」を発行しました。1年間の活動の報告とこれからの1年間の計画、決算・予算の概要、2020年の電話相談の内容などを紹介しています。詳しい内容は、川崎いのちの電話のホームページ(<http://kawasaki-inochinodenwa.jp>)に掲載します。

寄付感謝

2020年度は次の方々、法人・団体の皆さんから温かい寄付をいただきました。感謝してご報告します。

《個人》

高木 弘美	武田 信平	高村 真	倉片 孝行	津田さち子	松平 生代	大石 眞理	早崎 悦子	金子 圭賢
廣田 健一	安達 成功	井田 光政	安藤 雅彦	佐々木陽子	都高 真道	濱田 徹	村上カズコ	小林 直人
齋藤 正	杉浦 初子	山田美和子	磯村 博子	瀧野 修	近藤百合江	吉田 久弘	原 勝代	河合 眞
星出 光俊	小島 良子	高橋 勉	深瀬 正子	大川 幸男	田玉由希子	小林美年子	鈴木 清	笠原 光子
森 多美子	渡邊 正史	吉原 ゆり	斉藤加奈子	水村すみ子	伊東 葉子	木崎 光子	亀谷 真実	伊藤 英雄
越水 正明	大澤 陽子	松岡 光子	西村 俊子	吉澤 孝彦	中島 泰己	西村 典子	河合 束	小林 英機
齊木 貴	栗井 清	安田 享二	亀ヶ谷 修	露木 明美	石橋 博	藤嶋とみ子	手塚 豊子	浅田 美子
鈴木 恵子	栗澤由利子	坂本 治子	木澤 静雄	加藤トミ子	森山 定雄	山本 剛	山田 長満	関 聖一
磯部 愛子	久保美矢子	片山世紀雄	碓井 正之	長塚いつ子	石田 遵	北條 秀衛	西谷田鶴子	平井 智子
尾根 恒	中村 文子	金子 顕	久保 宗義	佐藤美津子	西田喜久子	大塚ふみ子	山本 直正	梶川 明美
村田 紀子	小松 和芳	佐藤 正明	藤井美智子	中島 美明	矢代 由有	林 茂	山田美千代	木戸 梓
宇野 克美	田中 康夫	志田美奈子	成澤 利恵	助川 公子	蝦名 義博	野平 正浩	岡安 敬夫	百元 夏繪
中村美枝子	吉田 伸一	余湖はれみ	藤 雅文	山口 恒太	石川 幸夫	松島 太郎	高梨 齊	伊藤 彰彦
桑名カズヨシ	内田 三枝	長掛 栄一	上田あかり	福山 清蔵	船橋 俊司	白井香代子	三辺 淳子	吉川 亜子
平 菜々子	山本 苑子	肥塚 由美	岡本由利子	秦 ひろみ	太幡世記子	小島 克巳	中由 光徳	花見 光夫
太田 文雄	田中 勝利	鈴木 早苗	小川 照子	佐野 敦子	今野タネ子	宮坂 源一	蝦名由紀江	KIM OKHEE
杉谷 憲一	市川 功一	松尾 信子	岡田 修二	坂尾 宜徳	井上美千代	柴田 武子	渡邊 新治	初山 勝雄
島崎 祥子	伊藤 陽三	立木 郁子	奥 秀子	金子美代子	百々 文雄	清水 享桐	菅沼 雪絵	近藤八千代
鍋木 昌代	岡田 良子	牧野 洋久	石橋 慶子	中里 君江	磯辺栄次郎	阿部 孝夫	小山 明子	一色満喜子
三國 祥子	常松 恭子	柳沢 晃治	森 清	イノウエ	伊藤チエコ	深沢 真衣	阿部 若奈	漆原 敦子
梶田みどり	澤 洋子	鍵屋 清作	馬場 邦枝	柴田 頼子	小松 終子	櫻井 貴裕	仁上喜久夫	目代 健次
棚部 哲男	立川 典子	瀬森 尚羊	大久保規矩夫	石原 淳子	岩佐 頌子	小泉 政勇	金井 勉	匿名希望16名

《法人・団体》

カリタス学園同窓会	㈱由貴工務店	㈹太平商事	LC国際協会330-B地区キャビネット事務局
㈱モリエータープライズ	四ツ葉グローバルクラブ	リサイクル募金 きしゃぼん	横浜工業㈱
宗教法人平岡寺	㈱ホクト	久津間製粉㈱	プライムコーポレーション㈱
㈱見村鉄骨グループ	川崎北ライオンズクラブ	㈱多摩設計	三神商事㈱
国際ソロプチミスト川崎	㈱三泉	高津区鎮座白髭神社	山本賀也設計室
オール川崎ライオンズクラブ連絡協議会	川崎市医師会	ケイ・アイ商事㈱	宗教法人潮音寺
YOKOHAMA BELL ライオンズクラブ	鷺沼ビル管理㈱	㈱米山石材店	㈹坂本木工所
東京恩寵教会 執事会	ジェクト㈱	一般社団法人 川崎市弘済会	川崎ロータリークラブ
日本キリスト教団溝ノ口教会	川崎教会教会学校	川崎境町教会	おくせ医院
(社)生命保険協会神奈川県協会	堂本製菓㈱	元住吉教会教会学校	学校法人 捜真学院
川崎東ライオンズクラブ	㈹モクダイ	㈱アドバンスホーム	募金箱
共同購入	センター製作部	新ゆり製作部	

■財政支援にご協力をお願いします

24時間365日眠らぬ電話相談活動は、資金ボランティアからの会費、寄付により支えられています。相談員の養成、研修のほか、建物の維持管理、人件費、事務費、広報活動に年間約1600万円の資金が必要です。自前での資金確保(チャリティー事業による収益など)に努めているほか、川崎市からの補助金、多くの個人、法人・団体から寄付をいただいています。2018年4月に財政基盤の安定のため、「川崎いのちの電話支援会」が発足しました。どうぞ皆さまのご理解とご支援を心からお願いします。

川崎いのちの電話への寄付は寄付金税額控除など税制上の対象になります。

◇賛助会員 定期的に会費で寄付をいただける個人、法人・団体

(1)個人会員	年額	5万円	3万円	1万円	5千円	3千円
(2)法人・団体会員	年額	10万円	5万円	3万円	1万円	

◇寄付 個人、法人・団体ともに金額、回数を定めない場合。相続や遺贈による寄付も控除対象となります。

◇振込先	(1)ゆうちょ銀行からの振り込み(払込取扱票にて)	口座番号:00240-2-36798	加入者名:社会福祉法人 川崎いのちの電話
	(2)他銀行からの振り込み	銀行名:ゆうちょ銀行	店名:〇二九(ゼロニキュウ店) 預金科目:当座
		口座番号:0036798	加入者名:社会福祉法人 川崎いのちの電話

お問い合わせ:川崎いのちの電話事務局(044-722-7121 平日10時~17時)

■「リサイクル募金 きしゃぼん」へのご協力をおねがいします

読み終わった本やDVD・CD、未使用切手・ハガキなどを「リサイクル募金 きしゃぼん」に引き渡すと、その売却代金が川崎いのちの電話に寄付されるリサイクル事業を2020年2月25日から開始しました。

2020年度はのべ42名の方から寄付いただき、合計で139,874円でした。以下のホームページまたはフリーダイヤルで申し込むと、宅配業者が宅配料無料で集荷し、査定金額が川崎いのちの電話に寄付されます。寄付控除の対象となります。詳細はホームページをご参照ください。

リサイクル募金 きしゃぼん ホームページ kishapon.com/kawasaki-inochinodenwa
フリーダイヤル 0120-29-7000(9時~18時)